

研究実施責任者	プロジェクト名	期間	配分額(円)
看護学部・助教 瀧 めぐみ	高幡保健医療圏における精神障害に対応した 包括的支援マネジメントモデルの開発	R1-R3	1,338,500
研 究 概 要			
<p>わが国の地域精神保健医療については、「入院医療中心から地域生活中心」という理念を明確にし、様々な施策を行ってきた。その結果、5年以上の入院患者数は減少傾向にある一方で、毎年新たに5万人が1年以上の長期入院に移行していることが課題の一つに挙げられている。</p> <p>精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」を目指すためには、これまでに展開されてきた地域の実情を踏まえた方策を検討する必要がある。また、多職種協働による包括的支援マネジメントを機能させていくことも必要である。</p> <p>高知県では、精神障害者が地域で生活するために必要となる医療、障害福祉・介護などが、中央保健医療圏に集中しており、特に高幡保健医療圏は、患者数に比べて医療機関の数が少ない。そのため、症状が悪化したとしても、精神科救急として24時間対応できる病院がなく、身体的・精神的・経済的負担により、安心して自分らしい暮らしをすることは他の保健医療圏と比較して困難な状況にあると考える。</p> <p>本研究では、高知県中央保健医療圏より高幡保健医療圏に退院する精神障害者への包括的支援マネジメントの現状と課題を明らかにし、地域の状況に即した精神障害者への包括的支援マネジメントモデルを作成する。研究の成果は、高幡保健医療圏における精神障害にも対応した地域包括的支援マネジメントモデルの作成の基礎的資料とする目的で研究を行った。</p>			

研究 成 果

本研究では、研究目標 1 として、高知県中央保健医療圏より高幡保健医療圏に退院する精神障害者への包括的支援マネジメントの現状と課題を明らかにした。これを基に高幡保健医療圏における包括的支援マネジメントの支援内容について、病院・地域の特徴や課題を踏まえた多職種連携における目標を考察し集約した。

次に研究目標 2 として、高幡保健医療圏における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための包括的支援マネジメントモデルを作成することとした。令和元年度～2 年度に行った研究目標 1 の中央保健医療圏より高幡保健医療圏に退院する精神障害者への包括的支援マネジメントの支援内容についての結果を、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のための手引き事例に行われていた支援、医療機関から地域援助事業者等が協働した取り組みと比較検討し、中央保健医療圏から高幡保健医療圏に退院する精神障害者への包括的支援マネジメントモデルを作成した。

成 果 物 等

【学会発表等】

1. 第 41 回日本看護科学学会学術集会、ポスター発表

瀧 めぐみ、田井 雅子、藤代 知美「居住地とは異なる保健医療圏から医療機関の少ない地域に退院する精神障害者への包括的支援マネジメント」